

社会保障学校に参加して

一つの敵にみんなで

何より大切な連帯の力

塚本栄子

六月三十日より七月三日まで、岡山県立芸術文化センターで開かれた第五回社会保障学校に初めて福岡労災連絡会より参加しました。

全国から集まった労働者の仲間四百三十五名が、二つの会場に集まりました。

「日本の社会保障の歴史と現状」という、日本女子大の松尾先生の講義にはじまり、つづいて「国際的社会保障の動向」「労災職業病と労働者保護」「医療保障」「老老保障」「雇用と失業」「社会福祉と公的扶助」「住宅問題」「国民養育と社会保障」などの時間割で、きつしつと進んでおりました。

講師は全員大学教授で、話ばかりやすかったのですが、おしいことにマイクが悪かったためか前取り組まなければならぬ、という

「社会保障の講義の中では、老後の生活のための保障や年金でもなく、高令者たちは生かす殺さすの社会の中で苦しんでいる。今後老人問題は大きな社会問題として取り組まなければならない、という

詩 刻

板木 仁志嶺 余二朗

暗黒の中に突き落した
死の宣告にもたカルテ
それはじん肺患者

灰色だけの人生
半獄につなれた囚人
それはじん肺患者

生と死の刻はききむ
一刻の囚人を求め
一刻の生命の灯火をともし

医師の鋭利な頭脳は
俺達の肉体を解剖する
治療のない肺の動きに

じん肺それは刻
一年を指折るむなしさ
生と死の刻に追われる

それはじん肺患者
それはじん肺患者
それはじん肺患者

全国じん肺患者同盟(熊本県
屋敷原町高徳八六六)新聞「じん
はい」(NO・六七)に掲載さ
れていたものです。

毎日かけずり回っておられるこのことを自分なりに必ず上げますから、どうも頭張って下さい」とい

いを自分なりに必ず上げますから、どうも頭張って下さい」とい

いを自分なりに必ず上げますから、どうも頭張って下さい」とい

いを自分なりに必ず上げますから、どうも頭張って下さい」とい

いを自分なりに必ず上げますから、どうも頭張って下さい」とい

いを自分なりに必ず上げますから、どうも頭張って下さい」とい

CO闘争支援を強化

支援する会が討論集会開く

大牟田・荒尾市の三池CO闘争を支援する会は、大牟田地区が川口六平さん、荒尾地区が宮川勝男さん

大牟田・荒尾市の三池CO闘争を支援する会は、大牟田地区が川口六平さん、荒尾地区が宮川勝男さん

大牟田・荒尾市の三池CO闘争を支援する会は、大牟田地区が川口六平さん、荒尾地区が宮川勝男さん

大牟田・荒尾市の三池CO闘争を支援する会は、大牟田地区が川口六平さん、荒尾地区が宮川勝男さん

大牟田・荒尾市の三池CO闘争を支援する会は、大牟田地区が川口六平さん、荒尾地区が宮川勝男さん

大牟田・荒尾市の三池CO闘争を支援する会は、大牟田地区が川口六平さん、荒尾地区が宮川勝男さん

現在三池の地では？

CO闘争へのあるPR誌の問題提起

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

このほど、三池大災害裁判担当弁護団長の佐伯静治先生から「あるPR誌」のついでに文章で

原告団消息

六月十六日 下井手地域班会議
十七日 馬場地域班会議
全員参加して、退職者からの悩み、症状など多くの意見が出

六月十六日 下井手地域班会議
十七日 馬場地域班会議
全員参加して、退職者からの悩み、症状など多くの意見が出

六月十六日 下井手地域班会議
十七日 馬場地域班会議
全員参加して、退職者からの悩み、症状など多くの意見が出

六月十六日 下井手地域班会議
十七日 馬場地域班会議
全員参加して、退職者からの悩み、症状など多くの意見が出